学研高山地区Bエリア及び高山東西線整備手法検討業務に係る公募型プロポーザル　質問回答書

回答年月日	令和8年9月30日	回答課名	学研推進課

質問項目	質問内容	回　　答
特記仕様書 （２）整備に係る課題及び前提条件の整理成_１）整備課題及び前提条件の整理について	①権利者・土地所有状況の整理の実施にあたり、権利者・土地所有者状況を把握するための資料（土地登記簿等）は業務契約後に発注者より貸与されるという認識でよろしいでしょうか。	権利者・土地所有者状況を把握するための資料として、特記仕様書 8 提供資料に記載している他、土地登記簿情報を提供します。
特記仕様書 （３）整備案の提案及び実現方策検討図・設計概要図の作成_５）設計概要図の作成について	「１）で作成した整備案について、高山東西線、接続する主要道路等の基盤施設及び土地利用計画等を平面的に整理した設計概要図を作成する。」と記載がありますが、複数作成した整備案のうち、発注者との協議を経て絞った1案の設計概要図を作成するという認識でよろしいでしょうか。	複数作成した整備案について、発注者と協議の上、選択するものであり、設計概要図の作成は１案とは限りません。
特記仕様書 （３）整備案の提案及び実現方策検討図・設計概要図の作成_３）整備手法の検討及び比較評価について	③土量バランスの検討において、「国土地理院地図や３DCAD を用いて、おおまかな過不足土量の算出」を行うと記載がありますが、土量の算出方式として3DCADの使用は必須でしょうか。その場合、既往検討データの借用は可能でしょうか。	おおまかな過不足土量の算出方法として、3DCADの使用は必須ではなく、他の算出方法を用いて土量を算出していただいて構いません。既往検討データについては、特記仕様書 8 提供資料に記載している他、高山東西線について検討した「学研高山地区第２工区他都市計画変更資料作成業務」の成果品を提供します。